

コミュニティ・スクール だより



栗源小・中学校は、平成21年度・22年度の2年間、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）についての調査研究をしてまいりました。本年度からは、今までの調査研究を基に、いよいよコミュニティ・スクールとしてスタートする予定です。

コミュニティ・スクールについてはすでにこの「絆」でお知らせしたとおりですが、指定をうけても他の公立学校と大きく変わることはありません。保護者や地域の皆さんが学校運営に参画し、地域の子どもは地域で守り育てていこうとする教育の仕組みがコミュニティ・スクールの特徴です。

子どもの見守り活動や、授業の特別講師や部活動指導，行事等への協力，施設設備の充実に地域の方からすでに多くの協力いただいております。今年度は，これらの活動を大切にしながら，地域の様々な団体との連携も深めていくことを推進していきたいと考えています。

人間が教え育てられる場には、「家庭・学校・地域」の3つの場があり，それぞれの基本土壌の安定が不可欠であることはいうまでもありません。子どもの不安定感，そのいずれかの歯車の食い違いから生じるものです。これらの不安定感の解消に向け，栗源ならでできること，栗源でしかできないこと大切にしながら新たな教育のシステムづくりに，小中学校が連携しながら取り組んでまいります。

【ディサービスの高齢者の方との交流】



【小中学校合同のマラソン大会】



【「栗っ子ふれあい祭」の高齢者の方との交流】



【「栗源いも祭」での栗源小ブースの様子】